

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 25 年 2 月 7 日 (2013.2.7)

【公表番号】特表 2012-513319 (P2012-513319A)

【公表日】平成 24 年 6 月 14 日 (2012.6.14)

【年通号数】公開・登録公報 2012-023

【出願番号】特願 2011-542574 (P2011-542574)

【国際特許分類】

B 2 9 C 67/00 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 67/00

C 0 8 L 67/00

C 0 8 K 3/00

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 12 月 11 日 (2012.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

120 ~ 220 の融点を有する、少なくとも 1 つの半結晶質又は結晶質芳香族のレーザー焼結可能なポリエステルポリマーを含む粉末組成物を提供する工程と、ここで、当該粉末組成物の弾性率が、レーザー焼結された ISO 3167 タイプ 1 A 多目的犬用骨試験試料に形成させ、ISO 527 に従って試験したとき、少なくとも 200 MPa である；そして、

前記粉末組成物を選択的にレーザー焼結させて、3次元物品を形成する工程とを含む、方法。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの半結晶質又は結晶質のレーザー焼結可能なポリエステルポリマーが、150 超 ~ 220 の融点を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つの半結晶質又は結晶質のレーザー焼結可能なポリエステルポリマーが、-30 ~ 80 のガラス転移温度を有する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの半結晶質又は結晶質のレーザー焼結可能なポリエステルポリマーが、150 未満の再結晶温度を有し、 T_m と T_c との温度差が 25 超である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの半結晶質又は結晶質のレーザー焼結可能なポリエステルポリマーが、テレフタル酸、イソフタル酸、ジメチルテレフタレート、又はジメチルイソフタレートのうち 1 つ以上から誘導されるユニットを含み、前記少なくとも 1 つの半結晶質又は結晶質のレーザー焼結可能なポリエステルポリマーが、10,000 ~ 80,000 の重量平均分子量を有する、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】

前記粉末組成物が、前記粉末中のポリマー材料の重量に基づいて、50～100重量パーセントの半結晶質又は結晶質ポリエステルを含む、請求項1～5のいずれかに記載の方法。

【請求項7】

150～220 の融点を有する、少なくとも1つの半結晶質又は結晶質のレーザー焼結可能なポリエステルポリマーを含む粉末組成物を提供する工程と、ここで、当該粉末組成物の弾性率が、レーザー焼結されたISO 3167タイプ1A多目的犬用骨試験試料に形成させ、ISO 527に従って試験したとき、少なくとも200MPaである；そして

前記粉末組成物を選択的にレーザー焼結させて、3次元物品を形成する工程と、を含む、方法。

【請求項8】

2つ以上のレーザー焼結可能なポリエステルポリマーのブレンドを含む粉末組成物を提供する工程であって、ここで：

少なくとも1つの前記ポリエステルポリマーが、120～220 の融点を有する、半結晶質又は結晶質であり、そして

少なくとも1つの前記ポリエステルポリマーが、非晶質である、工程と；

前記粉末組成物を選択的にレーザー焼結させて、3次元物品を形成する工程と、を含む、方法。

【請求項9】

前記少なくとも1つの半結晶質又は結晶質のポリエステルポリマーが、1つ以上の芳香族基を含む、請求項7又は8に記載の方法。

【請求項10】

前記少なくとも1つの半結晶質又は結晶質の芳香族レーザー焼結可能なポリエステルポリマーの実質的に総てが、ポリエステルユニットを含む、請求項1～9のいずれかに記載の方法。

【請求項11】

請求項1～10のいずれかに記載の方法により製造される3次元物品。